



# LAZONA ラゾーナ 藤尾歴史散歩

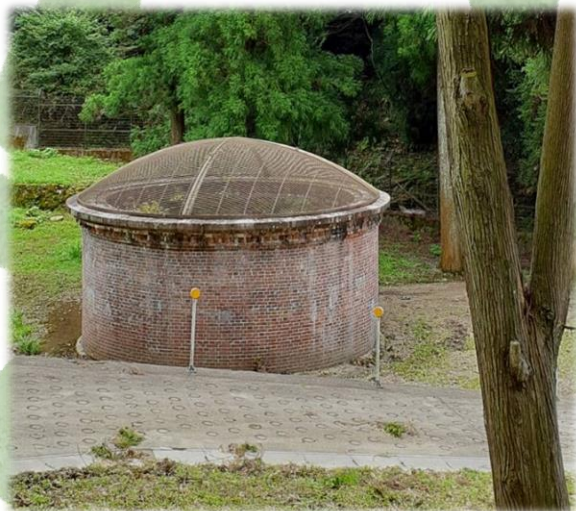
藤尾学区まちづくり協議会設立準備委員会 歴史文化部会



## 第7回 琵琶湖疏水第一豎坑

疏水の工事で、通水用トンネルの掘削工事期間を短縮するための方法として、長等山の両側から掘削するだけでなく、山の中腹に豎坑を掘り下げ、その豎坑口からも東西口に向け4ヶ所から掘り進められました。この豎坑掘削方式も、当時の日本では前例のない工法でした。豎坑の大きさは、直径5.5m、深さ50mで、全て煉瓦巻工法が採用されています。当時は動力機械もなく、すべて人力による掘削でした。この辺りは地下水が豊富で出水に悩まされました。工事の初期には揚水ポンプもなく、巻き上げ機を使って、手で地下の湧き水やズリ（掘った土砂）を豎坑から地上に引き上げるなど、大変な難工事でした。

（文・松井佐彦）

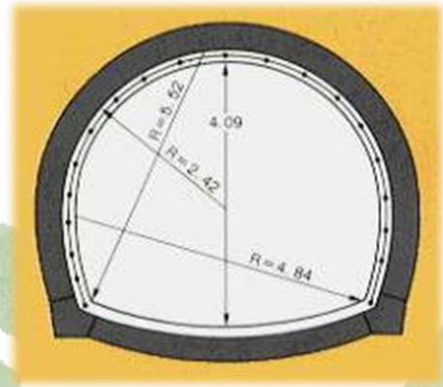


● 第一豎坑（現：藤尾奥町）

国の史跡に指定（平成八年）旧藤尾村の近代産業遺産



● 第一排水縦断面図



● 第一豎坑 断面図



日本で初めて採用された豎坑を用いて明治23（1890）年に第1疏水が完成しました。この琵琶湖疏水の建設は、当時の土木工事としては設計から施工までを日本人の手で担った最初の事例と言われています。

藤尾を流れ行く疏水は、私たちに、約130年もの時を越えてもなお、琵琶湖から流れる水と共に長い歴史を語りかけています。（歴史文化部会）

バックナンバーご希望は市民センターまで

